

## 「お試しアカウント付き並列プログラミング講習会（試行）」実施報告

スーパーコンピューティング部門

2010年3月17日（水）、東京大学情報基盤センター4階413遠隔講義室にて、第8回「お試しアカウント付き並列プログラミング講習会（試行）」が開催されました。

本講習会の新しい試みとして、東京大学内および学外における当センターのスーパーコンピュータの利用を考えているユーザに加え、社会貢献の一環として、高性能計算や並列処理の技術習得を目的にした企業に所属する研究者、技術者の方も受講が可能となりました<sup>1</sup>。

受講者は、学部生：3名、大学院生・研究生：4名、大学教職員：6名の合計13名でした。

1週間有効となるお試しアカウントが与えられ、T2K オープンスパコン（東大版）の利用方法、MPI 演習、プログラム基礎演習が、終日の日程で行われました。

当日のプログラムを、以下に載せます。

### ● 3月17日（水）

9：30 - 10：00 受付

10：00 - 12：00 ノートパソコンの設定、テストプログラムの実行など（演習）

（講師：片桐孝洋 特任准教授）

13：00 - 15：00 プログラミングの基礎（分割コンパイル）（演習）

（講師：鴨志田良和 特任助教）

15：15 - 16：15 並列プログラミングの基本（座学）

16：30 - 18：30 MPI プログラミング実習（演習）

（講師：片桐孝洋 特任准教授）

11名の参加者について、講習会に関するアンケートをご提出いただきました。主要な項目の集計結果を以下に載せます。

---

<sup>1</sup> 企業に所属する研究者、技術者の方は、受講前にアカウント申込書（直属の上司等の署名捺印があるもの）の提出が必要です。詳細は当事業のホームページをご覧ください。

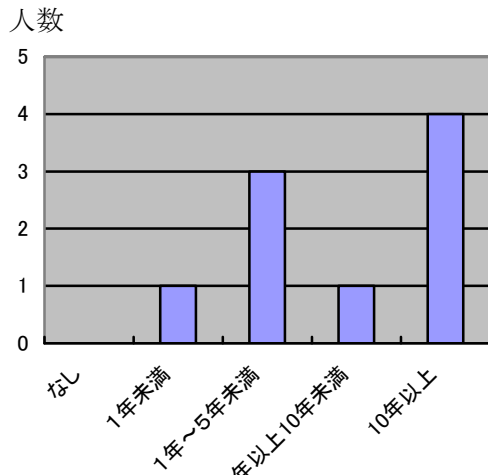


図1 プログラミング歴

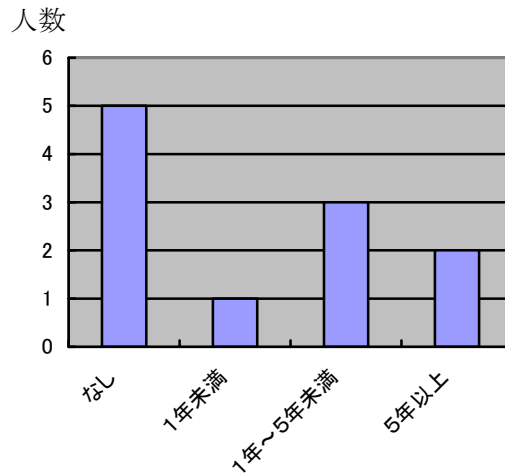


図2 並列プログラミング歴

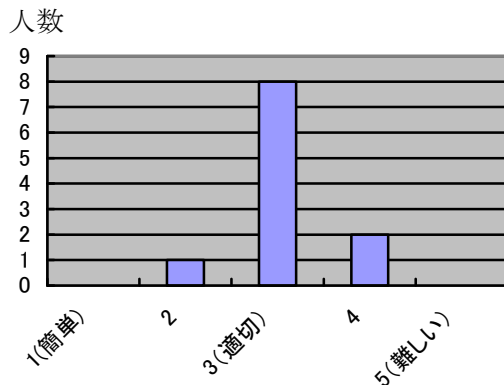


図3 配布資料の内容

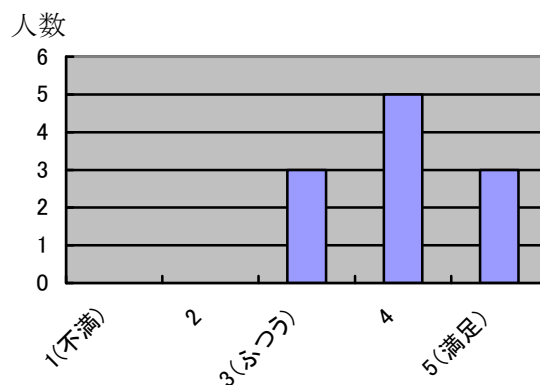


図4 受講した満足度

図4より、平均満足度は4.0です。良好な満足度のご評価をいただいております。本講習会に対するコメントを、以下に載せます。

- プログラミングの基礎（分割コンパイル）のプログラムの実行などが早すぎについていけなかった。もう少しゆっくりしてほしい。
- MPIのプログラムを書くのは、はじめてでしたので、とても有意義でした。
- 自分のプログラムの並列化として活用したいと思います（整数論）。
- また並列 make の話も興味深かったです。
- Fortran よりも C をメインに解説してくれたので良かった。
- 試用期間をもう少し増やしてほしい。
- 個人的には、行列積を行置きして、メモリアクセスを良くしても、コンパイラの最適化で遅くなる点が、興味深かった。
- 分割コンパイル、make の話は簡単すぎだった。
- 分割コンパイルの話をしたら、ヘッダファイルとか extern 宣言の話もしないといけなと思う。
- MPI の基礎的、内部的ふるまいについてもプレゼンしてほしい。

- 1日に詰め込まれているので、つかれた。
- 2～3日ぐらいで余裕を持って受講したかった。

第9回となる講習会につきましては、2010年5月13日（木）～14日（金）に、情報基盤センター4階413遠隔講義室で実施いたしました。また、第10回となるMPI基礎講習会は、2010年7月22日（木）～23日（金）を予定しております。詳細および講習会への申込みは、以下のホームページでご確認ください。

<http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/publication/kosyu/>

以上